

平成 27 年度の社会貢献活動について（中間報告）

平成 27 年 9 月 24 日
公益社団法人リース事業協会

- 当協会におきましては、リース業界の特色を活かした社会貢献活動として、「東日本大震災復興支援活動」および「特別支援学校に対する支援活動」を行っています。
- 関係者の皆様方におかれましては、当協会の社会貢献活動に対しまして、引き続き、ご支援・ご協力くださいますようお願い申し上げます。

1. 東日本大震災復興支援活動

内容	27 年度上半期 活動実績	27 年度下半期 活動計画
①被災地域において教育支援・地域振興・社会福祉に関する活動を行う非営利法人に対するリース終了パソコンの寄贈活動	NPO 法人しんせい様に対し、リース終了パソコンを 3 台寄贈しました*1・2。 *復興庁の被災者支援コーディネート事業を活用しました（8 月 21 日プレスリリース実施）。	復興庁の被災者支援コーディネート事業および被災地支援等を行う企業財団等との連携により、被災地域で活動する非営利法人にリース終了パソコンを寄贈します。
②被災 3 県で「ものづくり」の基礎教育を行う工業高等学校に対する分解実習用リース終了パソコンの寄贈活動	岩手県、宮城県、福島県の工業高等学校に対し、リース終了パソコンを 29 台寄贈しました*1。	28 年度のニーズ調査を実施します。

2. 特別支援学校に対する支援活動

内容	27 年度上半期 活動実績	27 年度下半期 活動計画
①全国各地の特別支援学校に対するリース終了パソコンの寄贈活動	鹿児島県内および栃木県内の特別支援学校に対し、リース終了パソコンを 12 台寄贈しました*1・2。	数県の特別支援学校に対し、リース終了パソコン寄贈のご案内を送付します。
②全国各地の特別支援学校に対する作業学習教材（封筒）の提供活動	札幌市内、東京都内、滋賀県内の特別支援学校 3 校に対し、会員会社から作業学習教材（封筒等）を提供しました*3。	引き続き、会員会社から作業学習教材（封筒）の提供を受け、活動を実施します。
③東京都立港特別支援学校の作業学習に協力する活動	当協会から関係先へ送付する郵送物の発送作業およびパンフレットの訂正シール貼付作業を教材として提供した他、ビジネスマナー学習等の協力をしました*4。	作業学習およびビジネスマナー学習等に協力する活動を定期的に実施します。

（※1）会員会社から当協会に対して無償提供を受けたリース終了パソコンを整備して寄贈しています。

（※2）リース終了パソコンの寄贈活動に際しては、日本マイクロソフト株式会社様のシチズンシップライセンス（Windows7,Office2010）を活用させて頂いています。

（※3）作業学習教材（封筒）を提供した特別支援学校において、住所変更の修正シール貼付作業、不要封筒による郵便物の発送練習・再生封筒の作成を行っています。また、本活動を円滑に実施するため、会員会社から教育委員会担当部門の紹介を受けました。

（※4）当協会の作業学習とは別の作業学習として、会員会社の申し出により、東京都立港特別支援学校に会員会社を紹介し、同校の生徒が同社を訪問して備品管理シール貼付作業を行いました。

〈参考資料 1 : リース終了パソコン寄贈実績〉

*平成 27 年 9 月 11 日現在

寄贈先所在地		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	累計
東北	青森県	—	—	—	6 台	—	6 台
	岩手県	43 台	45 台	11 台	35 台	10 台	144 台
	宮城県	139 台	195 台	31 台	7 台	8 台	380 台
	福島県	342 台	138 台	53 台	26 台	14 台	573 台
関東・ 申信越	茨城県	—	—	37 台	—	—	37 台
	栃木県	—	—	—	—	6 台	6 台
	長野県	—	—	—	20 台	—	20 台
中国・ 九州	広島県	—	—	—	6 台	—	6 台
	福岡県	—	—	—	18 台	—	18 台
	鹿児島県	—	—	—	—	6 台	6 台
合計		524 台	378 台	132 台	118 台	44 台	1,196 台

〈参考資料 2 : リース終了パソコン寄贈先から寄せられた言葉〉

- ◆施設の利用者が使用できるパソコンがない。寄贈を受けたリース終了パソコンは、被災地の障がい者の就労支援のために作業所に設置し、施設を利用する障がい者がプロジェクト製品の請求書作成・事務作業・デザイン作成等のために使用する。【NPO 法人】
- ◆10 年以上前に購入したパソコンを組み立て実習で使用しているが、一部は故障中である。寄贈を受けるリース終了パソコンは、組み立て実習において、パソコンのハード的な構成を学習し、組み立てたパソコンでいろいろな OS を起動して OS の違いを実体験する等に用いる。復興支援並びに本校支援に多大なるご配慮をいただき感謝申し上げます。【工業高等学校】
- ◆15 年程前に導入したパソコンが古くなり故障などで使えなくなっている。寄贈を受けるリース終了パソコンは、情報実習用、NC 加工実習用として使用する。【工業高等学校】
- ◆特別支援学校の教員数増加と経年劣化によりパソコンの台数が不足している。教育現場での ICT の導入が進んでいるが、厳しい財政状況のなか、機材整備が進んでいない。パソコンは授業での活用、校務処理に必要不可欠である。このような状況のなかで、リース終了パソコンの寄贈は重要な意味を持っており、教育現場として大変ありがたい。【特別支援学校】
- ◆職員には一人一台の校務用パソコンが配備されているが、故障が多くなってきており、修理依頼が増えている。高等部では、作業学習でパソコンを用いて名刺作成も行っているが、作業学習用のパソコンが故障し、現在は担当職員の校務パソコンをその都度持参しながら対応している。寄贈されるリース終了パソコンを作業学習で使用したい。【特別支援学校】

〈参考資料 3 : 作業学習教材の提供先から寄せられた言葉〉

- ◆学校としては校内の作業だけではなく、できれば外部の作業を行い、やりがいや、感謝されることを経験してもらいたいと思っている。生徒の励みにもなり、心を込めて作業するように、生徒を促していく。今後も何かあればお引き受けしたい。社会自立を目指す本校の生徒たちにとって、とてもありがたい申し出である。【住所修正シール貼付作業】
- ◆再生封筒を作成し、校内で利用したい。現場実習へ行く前段階として、校内の作業所で模擬体験をする予定。ただ作るだけでなく、何のために・誰のためにつくるのかということを生徒に伝え意義を考えてもらいたいと思っており、再生した封筒を企業でお使いいただければ尚よいが、今回の話だけでも十分ありがたいと思っている。【不要封筒による再生封筒作成作業】

以上